

●まちの特徴

堂島川と土佐堀川に囲まれた水都大阪のシンボルアイランド中之島。古くから商業やビジネスの地として中心的な役割を担い、芸術・文化の発信拠点としても親しまれてきました。そんな歴史や文化を活かし、国際的な機能も兼ね備えたまちとして、企業によるまちづくりが進められています。

●まちの変化と課題

近年ではマンション開発により中之島に暮らす人も増えており、子どもたちも増えていることから中之島地域に新しい小中一貫校建設が進められています。住んでいる人が増えている一方で、地域の中でのつながりは希薄化し、まちを支える地域の担い手は高齢化が進み地域の次世代の担い手不足が大きな課題となっています。また、地域内に集会所がなく、地域の会合をしたり、子どもづれで気軽に集まれる場がない事もつながりづくりの壁となっています。

●まちへの想い

ここで暮らす人からは「暮らしやすい」、「安心して暮らせる」、「環境がいい」と中之島で暮らす事の魅力がたくさん語られます。そんな暮らしの魅力を次世代にもつないでいきたいと思っています。

●暮らしのビジョンの作成

このような状況を踏まえ、地域に暮らす人々の目線で『住民だからできること、考えられること』に特化した暮らしのビジョンをとりまとめました。暮らし目線のまちづくりの方向性を共有し、部会活動などを通して住民のためのアクションを中心にした動きを進めていきたいと考えています。



中之島連合振興町会では、中之島の“暮らし”をより楽しく、より豊かにするため、暮らしのビジョンにもとづき「新しい仲間づくり部会」、「暮らしの防災部会」、「地域とともにある小学校部会」の活動を始めています。どんなことをしているのか興味がある方、お話を聞いてみたい方、一緒に活動してみたい方、お気軽にお問合せください。みなさんのご意見・ご参加をお待ちしております。

中之島連合振興町会

<https://www.osaka-nakanoshima.com>

お問合せ先=info@osaka-nakanoshima.com

2020年3月発行

お気軽にご連絡ください



中之島暮らしのビジョン

中之島の暮らしの 魅力を次世代へ



中之島に暮らす人々の目線で
「住民だからできること」に特化した、
中之島暮らしのビジョンをとりまとめました。

3つの方針

1 次世代につなぐ 新しい仲間をつくる

元気なまちの多くは、学校と地域コミュニティが連携して活動し、その中で子どもたちも、地域の次世代の担い手も育まれています。全国的にも、学校と地域が連携した特色ある学校作りが進められています。中之島西部地域小中一貫校と連携し、中之島の特性を活かした多様な学びと交流を生み出します。

2 まちと共にある 学校をつくる

元気なまちの多くは、学校と地域コミュニティが連携して活動し、その中で子どもたちも、地域の次世代の担い手も育まれています。全国的にも、学校と地域が連携した特色ある学校作りが進められています。中之島西部地域小中一貫校と連携し、中之島の特性を活かした多様な学びと交流を生み出します。

3 いざという時のための 日頃のつながりをつくる

中之島は安全な地域と言われていますが、近年は想定を超える災害が全国各地で発生しており、不測の事態に備えておく必要があります。また、地に住む人、マンションに住む人、オフィス・商業ビルで働く人・訪れる人・・・有事の際の課題は多様です。地域で日頃からのつながりを育み、企業や行政とも連携しながらいざという時に備えます。

